

エレクトーン演奏グレード2級 受験要項

I 楽曲演奏 計6曲

1. 自作曲 1曲

受験者本人で作曲した作品を1曲ご用意ください。

曲のスタイル、規模などは自由ですが、2級の演奏曲としてのレベルを考慮してください。

ごく簡単な民謡、わらべうた等をオリジナリティーのある編曲にしたもののは自作曲とすることができます。

例：「ロンドン橋変奏曲」「さくらさくら、によるパラフレーズ」

2. 自由曲 5曲

一般に出版されているエレクトーンの楽譜から選曲した楽曲、あるいは自編曲のいずれでも構いません。

曲のスタイル、ジャンル等は問いません。

上記1.以外の自作曲は1曲を自由曲として選曲できます。

●上記6曲の演奏時間が、レジスト等操作や休憩を含めて30分以上40分以内におさまるよう選曲してください。
(曲間に3分間の休憩を1回取ることができます)

●6曲を1つのコンサート用プログラムとして捉え、曲の順番等も考慮し選曲してください。

●一般に出版されている楽譜から選曲した楽曲を、更にご自身で編曲する場合は「自編曲」となります。

《楽譜の提出について》

- ・自作曲については、申込み受付後に楽譜をPDFファイル形式（A4縦サイズ）でご提出いただきます。詳細は申込み受付後にご連絡いたします。
- ・提出いただいた（PDFファイル）は試験後すみやかに消去いたします。
- ・演奏曲の出典を明らかにしてください。

楽譜は試験官へ提示いただくことがありますので、暗譜で演奏する場合も必ず全曲持参してください。

II 即興演奏

- ・4～6個の音から成る音列が3通り提示され、そのうち1つを選び、テーマを作り即興演奏します。
- ・演奏スタイルは自由ですが、5分程度の曲にまとめてください。
- ・課題は試験開始前に別室で15分間の予見及び試弾することができます。
- ・五線紙にメモを取り、そのメモを試験会場に持ち込むことができます（試験終了後回収します）。

課題例

The image shows three staves of musical notation. Each staff begins with a treble clef and consists of five horizontal lines. The first staff has notes: a dotted half note, a whole note, a half note, a quarter note, and another quarter note. The second staff has notes: a whole note, a half note, a quarter note, and another quarter note. The third staff has notes: a half note, a sharp sign over the first note, a sharp sign over the second note, and another half note.

III エレクトーン機種

<試験会場で用意されるエレクトーン機種>

ELS-02C・ELS-02X（申込時に選択した1機種のみでの受験となります）

IV その他

サポート演奏等、演奏情報およびXG音源の使用は楽曲演奏・即興演奏とも一切できません。

V 合否について

楽曲演奏、即興演奏ともに75点以上を満たしていれば合格となります。